

# 所弓便

第 4 号

所沢市弓道連盟会員 316 名

## 風 潮

会長 新家 透

同年度に誕生した鳩山政権も既に無く、一国の総理がこうも矢継ぎ早に交代するのは如何なものかと思えます。

私見ですが、当連盟に於いては、40代50代の方々の奮起を望むものです。

私の会長職2年目も、早半年を過ぎました。皆様のご協力に感謝致します。実感としては、皆様の日々の活動の傍らに自分が居ただけの様な気がします。

そんな中で、今年度大きく変化するのは、武州弓道大会です。

雨天、寒さ、駐車場、選手控室等の懸案に鑑み、武道館での開催の腹案を持って、熊野神社宮司及び氏子会会長に相談申し上げたところ、「弓道連盟の発展を第一義に」の言葉と共に了承頂きました。理事会、総会で決議頂き、今年度は、「熊野神社弓祭り」の冠かんむりはそのままに、武道館で開催することになりました。

多くの会員の皆さんが参加して戴くことは勿論のこと、他の連盟の弓友にも声をかけて頂き、400を超える選手を数えたいものです。

弓道連盟の発展と云えば、所弓連では、会員数が300人を超え、また、若い方の入会が増えており、喜ばしい限りです。

一方、全弓連では、弓道人口の自然減を憂慮してか、機関紙「弓道」でも、会員を如何に増やすか(減少させないか)を示唆する記事が目立ちます。

また、埼弓連理事会等でも、会員の継続を促すべく、新会員に対する心遣い、指導のあり方等に関するご意見を耳にします。

このような折、自分の言動が適切であったか、心許なく反省すること頻りです。

自戒の念を込めて、以下に「葉隠」の一文を引用させていただきます。

「葉隠」そのものに対する観かたは、それぞれとありますが、一文を素直に読んで頂ければ幸いです。

## 聞書第一の十四

人に意見をして疵きずを直すと云ふは大切の事、大慈悲、御奉公の第一にて候。

意見の仕様、大いに骨を折ることなり。

人の上の善悪を見出すは安き事なり。それを意見するも安き事なり。大かたは、人のすかぬ云いにくき事を云うが親切の様に思い、それを請けねば力に及ばざる事と云うなり。何の益にも立たず。人に恥をかかせ、悪口すると同じ事なり。

我が胸はらしに云うまでなり。

意見と云うは、先ずその人の請くるか請けぬかの氣をよく見わけ、入魂になり、此方の言葉を兼々信仰ある様に仕なし候てより、好きの道などより引き入れ、云い様種々に工夫し、時節を考え、或は文通、或は暇乞などの折か、我が身の上の悪事を申し出し、云わずしても思い當る様にか、先ずよき處を褒め立て、氣を引き立つ工夫を碎き、渴く時水呑む様に請け合わせ、疵直るが意見なり。

殊の外しにくきものなり。

年来の曲かたなれば、大體にて直らず。我が身にも覚えあり。

諸朋輩兼々入魂をし、曲を直し、一味同心に主君の御用に立つ所なれば御奉公大慈悲なり。

然るに、恥をあたえては何しに直り申すべきや。

(岩波文庫、和辻哲郎・古川哲史校訂より)

**所沢市弓道連盟**

4月25日の総会において平成21年度事業・決算・監査の各報告及び平成22年度事業計画・予算の各案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。

総会出席者は176名(内委任状116名)。

総会終了後に懇親会が、当麻よし子所沢市長、秋田 孝市議会議長、三上嘉徳熊野神社宮司、中野健治熊野神社氏子会長及び末本 並木正芳先生秘書の来賓5名の出席を頂き、所弓連会員54名が参加して盛大に行われました。

**埼玉県弓道連盟**

4月17日の評議委員会において、埼弓連平成22年度長寿者(米寿)として鈴木 博先生が表彰されました。

益田 恵	小寺芽生	甲斐 聡	田島かおり
長谷川泰子	鈴木麻菜美	柳田裕介	関 啓汰
清水淳子	高尾桂子	内野 篤	伊藤嘉明
角田好雄	ダニエル	関口研二	吉田美緒
山本千里	小幡志麻		

**昇段・昇格**

昇段おめでとうございます。

五段	水口 清		
四段	小林孝則		
参段	藤田 良	三由憲之	竹添鈴葉 松本裕子 古敷谷千賀子
二段	伊藤裕之	小山 等	名雪正義 松尾みどり
初段	家長知史	土田千香	引地靖子 吉田幸子 天池颯太 西川小枝子

(10月11日現在)

∞ 各部報告 ∞

**【総務部】**

**所弓連会員数**

10月31日現在の会員数は316名です。  
今年度新たに、初心者教室修了生24名、スポーツ少年団関係21名、そのほか13名、計58名が入会されました。

**新たに入会された会員**

(9月末現在 入会順)

レミオード	小坂太陽	山本絵美	勝山 彩
市原 聡	辻 将典	増田和彦	前島あずさ
水口 清	高橋貴子	鈴木秀美	久元奈々子
沖田恵美	小山卓治	仲澤淳子	田中和子
坂口弘志	榎本委久子	坂口裕史	坂口葉子
三井智恵子	林 友美	甲斐健太	高橋裕子
天池春妃	井関早百合	菊池彩乃	黒子暁和
鈴木流渚	中根木乃花	長谷川栞	阿部晃司
金井雄太	小塚一平	佐倉 豪	田島美月
長谷川優斗	水落鈴寿	山崎貴正	横山海友

**【指導部】**

**定期講習会**

9月までの講習会受講者数。  
橋田教室(毎月第1木曜日、第3土曜日)  
受講者延 82名  
土曜講習会(手島先生、8月から草賀先生)  
(毎月第2土曜日)  
受講者延 59名  
水曜講習会(見原先生)(毎月第4水曜日)  
受講者延 79名

**所弓連四段以下講習会**

10月9日 受講者26名

**初心者教室**

平成22年度からは、会員数の拡大と市民の健康育成に協力するため初心者教室を年2回開催することになりました。

1回目は、5月29日から6月26日まで武道館で毎週土曜日午後1時から5時まで、5回開催

しました。

参加者 24 名で内 15 名が入会いたしました。

2 回目は 9 月 15 日から 10 月 15 日まで神社道場で毎週水・金曜日の夜 7 時から合計 10 回開催しました。

参加者は 13 名で内 9 名が入会いたしました。

### 【スポーツ少年団】

#### 初心者教室

5 月 25 日から 6 月 19 日まで開催し 23 名が修了、スポ少 18 名、保護者 3 名が入会いたしました。

#### 夏期合宿

8 月 7 日から 9 日までスポ少夏期合宿を千葉県館山市池田荘で開催し 7 名が参加しました。



### 【競技部】

#### 月例射会

(5 月 16 日) (参加 遠的 22 名 近的 27 名)

《遠的》

1 位 目黒靖彦 2 位 新家 透 3 位 粕谷吉一

《近的》

3 段以下

1 位 龍池 昇 2 位 元田郁男 3 位 土井 恵美子

4・5 段

1 位 星川三樹男 2 位 永田欽一 3 位 小林康則

称 号

1 位 新家 透 2 位 粕谷吉一 3 位 上橋 宏

男子総合 1 位 新家 透

女子総合 1 位 住田真美枝

(6 月 13 日) (参加 28 名)

3 段以下

1 位 藤田 良 2 位 土井政明 3 位 土井恵美子

4・5 段

1 位 小林康則 2 位 星川三樹男 3 位 徳弘芳子

称 号

1 位 粕谷吉一 2 位 永島英男 3 位 渡邊徳雄

### ♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

最近射会で看的係をした方から寄せられたレターです。

「従来の電光看的盤は射会の中で、何故か誤作動して○×が表示出来なくなる場合が多々発生し、いつもドキドキしっぱなしでした。今回作っていただいた手動式二脚(4射場用)の看的盤は何たって優れものです。今いち円滑に回りにくい表示駒もありますが、新たに「?」マークも追加され安心して看的係りを勤められるようになりました。

製作に関わった方々のご苦労はいかばかりか、具に判り兼ねますが大変なご苦労であったことと拝察します。どうも有難うございました。」



写真は新しい看的盤

Mr. KaTaBaMi

(7月11日) (参加49名)

2段以下

1位 中根幸二 2位 元田郁男 3位 西原郁哉

3段以上

1位 下田 徹 2位 中村徳海 3位 粕谷吉一

(8月22日) (参加55名)

初段以下

1位 西川小枝子 2位 関 啓汰 3位 天池幹太

2・3段

1位 竹下 眸 2位 中根幸二 3位 塩島佳代

4・5段

1位 永田欽一 2位 中村徳海 3位 松寄 昇  
称 号1位 増田裕子 2位 嶺美智子 3位 粕谷吉一  
金の賞

永島英男 黒木宝子 鈴木光昭

## 対外競技会

(5月)

5日 入間市近隣親善射会(所弓連参加30名)

団体2位 粕谷吉一 目黒靖彦 篠原一郎

個人2位 熊井紀一

個人3位 粕谷吉一

(6月)

4日 埼玉県実年者弓道選手権大会(県武)

優勝 下田 徹(10射皆中)

6日 埼玉県下三道大会(秩父市第一弓道場)

所弓連 参加一般48 スポ少11 計59名

一般の部

団体5位 熊井紀一 森田新助 海老名玄

個人優勝 森田新助 2位 竹添鈴葉

4位 甲斐久歳

少年の部

団体3位 國本 葵 市川仁美 宮本莉緒

個人2位 市川仁美

13日 埼玉県女子遠の大会(県武)

2位 三好啓子

(7月)

4日 埼玉県弓道遠の選手権大会(県武)

男子五段以上優勝 粕谷吉一

総合優勝 粕谷吉一

17日 第23回埼玉県民総合体育大会(弓道中  
学の部)兼第7回全国中学生弓道大会県予選会

団体女子第3位

國本 葵 市川仁美 宮本莉緒

19日 中西部親善射会(武道館)

中部参加81名 西部参加119名 計200名

(所弓連参加34名)

西部的中率 32.1%(153/476)

中部的中率 39.2%(127/324)

中部の勝ち!

(8月)

8日 読売杯・県体予選・寿射会(武道館)

参加総数190名 内所弓連45名

読売杯 4位 立和修治

寿射会 4位 鈴木光昭

県体予選通過チーム

3段以下 山根幸二 鈴木雅久 小山 等

4・5段 永田欽一 小林康則 星川三樹男

称 号 坂井育世 竹村幸恵 立和修治

熊井紀一 鈴木光昭 海老名玄

三好啓子 嶺美智子 粕谷吉一

(9月)

11日 西部選手権大会(武道館)

参加総数132名

団体戦 2 位 平山夏子 住田真美枝 三好啓子

個人戦 1 位 星川三樹男 2 位 井口恒夫

3 位 石川淳子 5 位 熊井紀一

(県武道大会出場選手)

中 学 生 天池幹太 西原郁哉 川端裕明

市川仁美 國本 葵 宮本 莉緒

一般男子 井口恒夫 熊井紀一

一般女子 石川淳子 山本雅子 下田由美子



## 20日 第37回市民弓道大会 (武道館)

参加 177名

少・中学生の部

1 位 鈴木波流 2 位 市川仁美 3 位 伊藤 颯

2 段以下の部

1 位 田中健一 2 位 金子 岳 3 位 中根幸二

3・4 段の部

1 位 竹下 眸 2 位 星川三樹男 3 位 水口 清

5 段以上の部

1 位 粕谷吉一 2 位 増田裕子 3 位 立和修治

総合優勝 学生の部 武井成臣 (所沢北高)

一般の部 粕谷吉一

午後は会場を社務所に移し、森田梅子先生が花束を贈呈して、和やかな雰囲気の中で会食しました。

藤田先生は毎日早朝練習に励んでおり、一方弦友会の月例射会参加者へ、一年中自家栽培の新鮮な野菜を賞品として提供してくださっています。

藤田先生に感謝すると共に私達の良き先輩として、これからもお元気で弓道が続けられる事を心から願っております。



## ∞ 投 稿 ∞

### 卒寿のお祝い

弦友会会長 永田欽一

弓友藤田三吉先生が目出度く90歳を迎えられたので、藤田先生の祝賀射会として5月度弦友会の月例射会を行いました。会員と主旨に賛同してくれた弓友40名余が集い盛大にお祝いの行事が執り行われました。

藤田先生は年齢を感じさせない立派な射礼を披露され、続いて全員が一手祝射を行いました。

### 昇段 (審査時の心境)

三好啓子

本年3月1日福岡女子特別審査にて六段に合格する事が出来ました。

これも今まで支えて下さった先生方、先輩方のご指導と弓友の皆様の温かい励ましの御かげと感謝申し上げます。

錬士に昇格してから6年8ヶ月、六段には何度目の挑戦でしょうか？

10月の中央審査で落ち、次に受ける審査 (翌

年 7 月仙台) 迄間が空き過ぎるので、中間の 3 月福岡がある事を知り、弓友の住田さんに「行ってみませんか?」「行こうか!」というノリで申し込みをしたのが 1 2 月。

審査前の 2 月初めから実家の母の介護で田舎に行ったり来たり。その間に西部支部理事会の為の会計報告書作りと、理事会。そして福岡出発前日の会計監査と忙しい日々が続き、射の調子も思うようにはいかず、申込みをした事を後悔しました。

幸いな事は会計監査が無事終了した事です。

出発当日は雨が予想されて居た為、前の晩に弓と矢をビニールの雨具に入れ、玄関脇に置き準備は OK!

翌朝案の定雨。タクシーを呼び乗って駅に着く寸前、(はて…?何か足りない?…しまった!弓と矢を玄関に置きっぱなしだった!)

あわてて運転手さんに Uターンして頂き、家に…(弓と矢を忘れる様では運が無いんだなへ、でも往くだけ往ってみよう…) 取り急ぎ駅に! 何とか所沢発の高速バスに間に合い空港に(ホッ…!)

福岡は晴天、審査会場は西日本女子大会が行われており、住田さんの熊本の弓友も多数参加している様子で懐かしそうに話をしており、私は初めての場所なのでキョロキョロ。

審査当日は雨!前日の晴天が嘘の様…(やはりツイテない!)

審査委員に小宮範士と秋山範士がいらっしゃり、何となく心強くホッとすると同時に、みっともない射に為らない様、落ち着いて出来る事を念じました。

佐竹万里子範士の矢渡。始まると同時に雷が鳴り大雨。先生は落ち着いておられ、引き分けから会の妻手の張りが力強く、離れも鋭く、美しい!

(そうか、あの妻手の張りが大事なのだ!忘れない様にしよう!)

いつも苦手な学科が先でしたが、何とかうまく

書け、残るは術科。待っている時間は長く感じましたが、住田さんと熊本の弓友達との会話のおかげで、不思議と嫌な緊張感は無く立ち順に。床が滑らず歩きにくく気に為りましたが、それが幸いなのか胴造りで腰も安定し、会まで妻手がうまく張れたのか?自分でも気持がよい程離れて両肩根がスーと伸び、2本共同様に離れの中しました。(ラッキー!)

六段合格という事は跳び上がって喜んでよい筈なのに、心の底から喜べないのは「六段」という重みと「76人中1人合格」という重みのせいなのでしょうか…?

ともあれ、今まで歩いて来た道よりも、これからの道の方が厳しい事には変わりはなく、今まで以上の修練と努力が必要と感じています。

先生方、先輩方そして弓友の皆様、これからもご指導の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。どうか温かい目で見守っていてください。

### 新加入者です、宜しくお願い致します

水口 清

初めまして、水口と申します。静岡県御殿場市からこの4月に所沢市に引っ越して参りました。

数年間東京に単身赴任していたことから、5人家族(私+妻×1+娘×3)が4箇所別々に住むという異常事態?に陥っていたため、これを解消して久しぶりに家族全員が一軒の家に暮らすことにしました。家族5人が一緒に住んでいただけるのもそう長くは続かないとは思いますが、暫しの間のことと覚悟して満喫しようという思いでいます。

所沢市弓道連盟には7月に加入させて頂きました。これを機会に今一度初心に帰って心機一転弓道に一から取り組めればと考えています。

所沢市弓道連盟は会員が300名を超す大所帯であること、しかも称号者が40人もいることに驚かされました。以前所属していた支部は所帯も

こじんまりとしていて、支部員が 40～50 名、その内訳も錬士六段が 1 名、四・五段が 10 名程度という構成でしたので、環境の違いの大きさに少々面食らっております。まだ 3 ヶ月余りの短い期間ではありますが、道場でお会いできる先輩・先生方の弓射は流石に皆素晴らしく、指導されることも自分自身で腑に落ちることばかりです。皆さん連日のように道場に足を運ばれていて根っから弓がお好きなことがよく伝わってきます。また、さりげない言葉や所作から垣間見える人間的な魅力にも溢れていて、こちらも興味津々です。どんな経歴の方々なのかなど少しでも知りたくて、道場内では辺りの会話に耳をそばだてているところ

です。審査は暫く尻込みしていましたが、自らの心を奮い立たせてこの 10 月に 3 年振りに挑戦したところ運よく五段に合格することができました。審査会場では緊張の余り普段の練習の時とは程遠い射しか出来ずに反省しきりなのですが、それでも過去に 6 回も挑戦して辛酸をなめていた五段に合格できたことは、自分としても快挙でした。これも日頃の先生方のご指導と新加入者として快く迎え入れてくれた皆さんのお陰です。道場には土日の休日しか行けなく歯がゆい限りですが、これからも弓と道場の方々とのお付き合いを楽しませて頂きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

### 感想四段審査

小林孝則

「何かの間違いじゃないのか？」私が合格発表の貼り紙を見た時の感想でした。

前回審査(2009年9月 秩父)では、甲矢・乙矢ともはずれ、そして今回審査(2010年5月 所沢)で甲矢がはずれた時「ああ、今回もだめだ」と思いました。次回の審査のためにも1本は中てておきたいと思って射た乙矢がころうじ

て中り片矢という結果でのぞんだ発表が信じられない合格だったのです。

しかし、いっしょにのぞんだ仲間の方の中には、皆中も私と同じ片矢の方もいたのに私だけが合格してしまい、内心は「バンザイ」なのに顔のほうは渋い表情を作らなくてはならない状況になってしまったのでした。

私を最初の最初から教えて下さった、下田先生の喜んで下さっている顔を見た時も、喜びをおさえて冷静をよそおってお礼を申し上げたことをおぼえています。

私の弓道の夢の1つが明治神宮の至誠館で弓を引く事なのですが、いよいよ至誠館へ行くことができるようになって、さてこれからはいろいろなと思っています。

### 初心者教室(5月)を受講して

田中和子

たくさんの時間、体験させて戴きましたのに、見ている分には簡単そうに見え(上手い人がやっているからですね)、いざやってみると歩き方からして、何と難しく、今やった事がもう出来なくて全く覚えられない。それに腕の力の無さには、我ながら情けなくて、でも先生が希望を持たせて下さいましたから、どこまで出来るか出来ないのか、続けてみようと思います。

教え甲斐のない生徒になると思いますが、先ず稽古を楽しませて戴いてもよろしいでしょうか。

どうぞよろしくお願ひいたします。

### 初心者教室(9月)を受講して

関口研二

私は以前から弓道に関心があり、いつかやってみたいと思っていました。熊野神社の道場へも何回か外から見学した事がありました。

今回教室の夜の部を企画していただき本当に感謝しています。所作やいろいろな名前については

これから時間をかけて覚えればと思っています。

生涯スポーツとして、心神の鍛錬の場として続けようと思っています。ご迷惑をおかけするとは思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

### 国際武道文化セミナーへ再び参加して

キース・バクストン

3月5日から3月8日まで千葉県勝浦市で行われた第22回国際武道文化セミナーへ前年に引き続き参加する事ができました。その日は晴れで、車で新青梅街道を通り、渋滞の山手通りを抜けアクアラインを通り、勝浦市に着きました。

私たちに用意され3つの講義の最初は、仏教徒になったアメリカ人による“禅と武道”の講義でした。彼はオイゲンヘリゲルの「禅と弓道」を読み、‘動く禅’の修行を行いたいと思い、1969年に早稲田大学の留学プログラムで来日しました。何年か弓道を学ぼうと、稲垣源四郎先生から本当の目的が禅の修行なら弓道でなく直接禅を勉強してみてもどうかとアドバイスを受けたそうです。

彼は、講義の中で禅の心を身につける方法を説明しました。その中で、どれだけ多くの人々がただ無心になるべきだと信じ込み、そのためにいかに多くの時間を無駄にしていることか、と話しました。

弓道でもそれが言え、射位をとり無心になろうとすることは、それはまだ思いでしかなく無心ではないとの説明でした。

彼は、思考回路を客観的に観察する事を学び、今頭の中にある考えと次に思う事との間に無心のときがあると考えました。

次の段階として彼は、次の考えが浮かぶ前に今考えていることを押し殺す感覚を身につけることで頭の中を空にする方法を思いつきました。

自分で頭の中を空にしようと思ってもそれは本当の無心ではなく、何も考えないようにする

こと自体は悟りではないし、考えること自体は悪いことや不自然だとみなされるべきでなく、修行によって禅は洗練され、到達されるべきであり、東洋に特有なものではないとおっしゃっていました。

第1日目の夜は弓道の練習が予定されていました。今年の先生は佐久間剛先生（範士八段）と宮城孝吉先生（教士七段）でした。私は、佐久間先生には明治神宮の弓道場で、宮城先生には昨年のセミナーでお会いしたことがありました。セミナーの間ずっと先生方は、道場でも夕食時の食堂でも気さくでいらっしゃいました。



(宮城先生のご指導を受ける)

先生方は、熱心に射を見て、体配の指導をされました。私は退場の際、一步目の足を左からでなく右から動かすよう直されました。別のある人は、矢を放ち残心ののち、斜めに直進すべき所を45度のサイドステップをしていたのを直されました。また、退場の揖の際、多くの方は上座に正対せず、また揖のあと上座に意を注がず、そのまま出口の方へ退出していたのを指導されました。

2日目の朝は、“国際武道”と“日本の心”についての講義でした。

“国際武道”の講義は剣道家と少林寺拳法家により行われました。剣道家は、剣道を世界各国に広

めるのはとても重要であるが、日本の剣道と同じ形で広まるべきである。しかし他の国の剣道は違った形に国際化されてしまっている。

また、拳法の講義では、漢字の“行”について言及し、この字は2人の人間が支えあっている形を示している。拳法においては、博愛の心を以って国際的に人々を融合するべきである、との話をされました。

“日本の心”の講義は、昔聖徳太子という偉い人がいて、以前は高く評価され日本の紙幣に印刷もされていたが、今では学校の教科書からも過去の伝説的な人物としての記述も消えてしまっている。また、新渡戸稲造博士がアメリカ人向けに英文で書いた“武士道-日本の心”により、日本にはこういう優れた武士道があると海外の人々に紹介されてきたが、やがては聖徳太子のように忘れられてしまうものであろう。結論として、これから先も続いて行く為には武士道も変わって行かなければならないだろう、といった話でした。参加者はその後、そんなことはないと話していました。

2日目の午後は、みな1時間新しい未経験の武道を学ぶことが許されました。私は、自分が経験のある合気道の杖と共通点のあるなぎなたを選びました。

その後、弓道の講習も予定されていましたが、私はふだん英語を母国語にする人で行うことがほとんどないので合気道を選びました。私はとても楽しみにしていましたが、合気道は解説も無く静かに行われました。

一方、弓道の佐久間先生は日本の弓の詳細な話とその動きについて教えてくれました。それなので自分は弓道へ行けばよかったと思いました。

3日目の朝は、“女性と武道”のディスカッションでした。弓道は渡辺晴美先生（教士七段-千葉県出身）によって紹介されました。

女性にとっては、武道を始めるのも有段者にな

るのも難しいことであり、例えば初めは男性が着替えている部屋の間を抜けて、女性の更衣室に入るような感じだったとおっしゃっていました。また習い始めた頃の男女の比率は圧倒的に男性が多く、これは女性を怯ませるもので、さらに、審査のための練習や国際研修のツアーへ参加したりすることは、子供の面倒をみたりするのに差し障りがあったとのことでした。ただ、弓道と長刀は、男女の体格の違いは大きな問題ではない武道である、という説明がありました。

3日目の午後は、前日に続き“新しい武道の体験”で、私は銃剣道と柔道を選びました。柔道では、去年は“受け”を投げたりするのを楽しめましたが、今年は床での稽古が中心でした。柔道の相手に寝技を取られていたときも、相手より30kgは重いだろう自分は、テーブルを裏返す要領で押さえ返しました。いつものように20年前に柔道のトレーニングを受けていたことは黙っていました。



(佐久間先生と日本在住40年の受講者ロン(右))

セミナー最後の弓道の研修は、雨が降り背筋も凍るとても寒いなか行われました。私は宮城先生の見下さる中、寒くて青くなった指で、何本か矢を放ちました。先生は私に、顎をひいて頭を垂直に保つこと、手の内と取懸けの形、打ち起こしの方法、また弓矢の捧げ方で勝手の指先が甲矢の

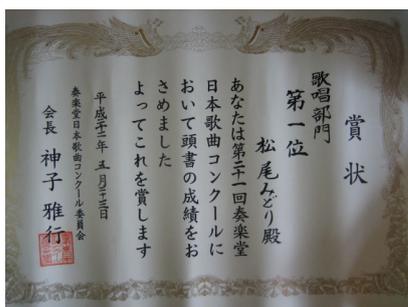
箆を押さえていないことなどを指導されました。

私は、何年も前から冬の最も寒い間は、弓道と合気道を避ける習慣が続いていました。私にとって、このセミナーは啓蟄のように、真冬の練習不足から目覚めさせ、いままで気づいていなかった欠点を指摘される良い機会となりました。

### 日本一の歌姫

神社道場弓友 S 生

今年度の奏楽堂日本歌曲コンクール大会で弓友松尾みどりさん(初段)が見事、日本一の栄冠を手中に収めました。コンクールは上野の森、東京藝術大学校内の国の重要文化財指定奏楽堂で行われました。奏楽堂日本歌曲コンクールは今年で 21 回目を数え、審査は 1 ヶ月に及ぶロングランで行われ結果として堂々の優勝です。



大学卒業後も地道な努力を重ね、歌唱部門日本一に挑戦し夢を実現させたのは弓道界の鏡です。去る 7 月 17 日、入賞記念コンサートが奏楽堂で開かれたので道場の仲間と駆けつけました。

連盟の定期総会後の懇親会で歌を披露してくれる普段の彼女と違い、少し緊張気味でしたが凛とした姿がまことに印象的でした。

中田喜直作曲「おかあさん」「未知の扉」「鳩笛の唄」の 3 曲を何の気負いもなく自然体で温かく歌い上げる姿にいつの間にか会場の聴衆は引きこまれ、おしまいに山田耕作曲「幽韻」を心を込めて熱唱されました。

これは和歌に曲がつけられ、若い人には表現が難しいとされる難曲中の難曲でしたが、人生のヒ

ダを優雅に歌い上げ聴衆の心を引きこみ、会場のあちこちで涙する人の姿が印象的でした。

猛暑の厳しい一日でしたが、歌の余韻はいまも胸に溶け込んでいます。これからの活躍を祈ります。

### 桑原稔先生の訃報に接して

飯島稔凱

「弓道」誌 8 月号で、桑原先生が 6 月に亡くなられたという訃報に接し、驚くと同時に深い悲しみに襲われました。昔坂戸で引いていた頃、桑原先生の講習会は何度も受けさせて頂きました。ひげの先生の豪快な射は今でも眼に焼き付いています。

講習の際、昔 30 キロもの強弓を引いていたこと、その時は離れて床がダダンと鳴ったとか、またいわゆる骨法を解剖学的見地から話されたこと、また私の名前「稔凱」の読み方を質問され、「としかつ」と読みますとお答えしたところ、先生のお名前にも同じ「稔」という字があることから、『そうか、この「稔(みのる)」という字は、日本が農耕民族で、お米が稔るまでを 1 年の単位と考え、「とし」と読むんだ』などと教えて頂いたことが思い出されます。

また、確か高崎での五段審査で失敗したとき、たまたま帰りの電車で、審査員だった先生とご一緒になり、自分の射の至らなかった点をお聞きする機会がありました。先生はわざわざ審査表を取り出されて、「あの射は、形はまあ出来ているが、心に響くものがなかった」という評価を聞かせて頂きました。このことは深く心に残り、爾来いまだに心している教えです。

もう永いこと先生にお会いする機会もありませんでしたが、先生の訃報に接し、いろいろなことが思い出されてなりません。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## ∞ お知らせ ∞

## 審査申込みに関する注意

審査申込書の記入に際し、記載方法に不適切な例がまま見受けられます。道場に記入例が掲示してありますので参考にして下さい。書き方等不明の場合はしかるべき人に確認願います。

また、会員のデータはすべて ID 番号により管理されています。ID 番号が間違っていると審査の申込みが受け付けられないことがあります。特に今年から ID 番号の頭の数字が以前と変わっていますので注意して下さい。ID 番号表は道場に保管されています。

なお、ID 番号は一度取得すると所属が変わったり、いったん退会したりしても終生変わりません。

## 武州弓道大会

熊野神社弓祭り第 4 3 回武州弓道大会が 11 月 2 3 日 (祝日) に今年度は所沢市民武道館に会場を移して開催されます。例年、県内はもとより隣都県からも多くの弓友の参加があります。参加される弓友が気持ちよく弓を引くことが出来るように会員の皆様の多くの参加と運営に当たってのご協力をお願いいたします。

## 初心者教室修了生対象

## アフターフォロー

毎週土曜日の午後武道館において、指導部による初心者教室修了生を対象にしたアフターフォローを行っています。弓道によらず最初が大切なので、足が道場から少し遠のいたと感じたら是非出かけて指導を受けられてください。

## 武道館用看的表示盤

武道館の電光看的表示盤は、操作盤の接触不良などによって点灯しないことが度々おきていました。このため営繕班が手動の木製看的表示盤 2 基

を作成し、5 月 9 日の地方審査から使用されています。

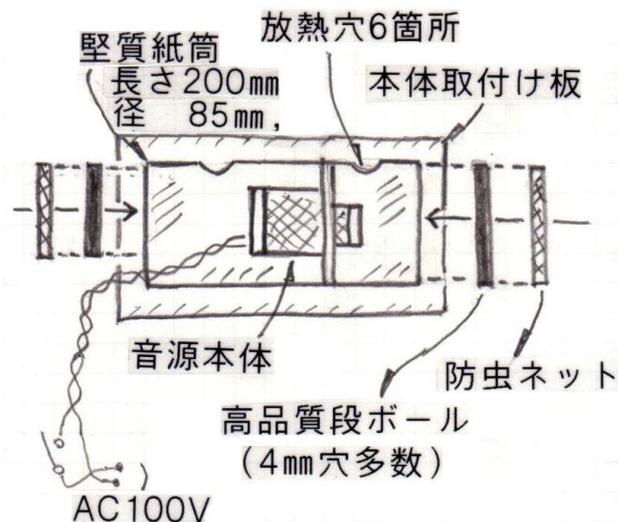
## 神社道場矢道整備

5 月 28 日及び 8 月 10 日に多数の参加者を得て遠・近的の矢道の草取り。9 月 2 日芝刈りと花壇レンガの補修。9 月 14 日遠的矢止め板のスズメ蜂の巣駆除(業者により)を行いました。その他除草剤散布など、大変な暑さの中本当にご苦労様でした。

## 神社道場矢取り安全警報器の更新

10 年以上使ってきた神社道場の安土警報器が、ここに来て夏ばて状態で少々お疲れ気味、原因は接触不良のようです。

そこで、安土警報器を新しいものと交換しました。



## 新型警報器の特徴

①高性能音採用 ②翼を内蔵、音域の指向性を考慮 ③防虫ネット、放熱穴装備 ④雨水を避け射場的側面壁に設置するなど配慮と工夫をしました。

矢取りの事故防止と安全確保のため、矢取りに入る時はしっかり射場の確認を行い、必ず警報器のブザーを 2～3 秒鳴らし、安全を確かめてから矢取りに入ってください。

設置に際し、若手の土井政明さん、田中健一ご夫妻を中心にお手伝いをいただき複雑な回路の解説をしてから、簡単な配線に付替えたため比較的短時間で作業を終えることが出来ました。お手伝いいただいた皆さん、有難うございました。

なお、上記以外にも道場のメンテナンス、清掃等は適宜会員の皆様のボランティアで行われていますが、最近参加者や人数に限られてきた傾向にあります。安全で楽しく弓が引ける環境整備のために、皆さまの積極的なご協力をお願い致します。

### ∞ 主要行事予定 ∞

1 1 月 1 4 日

平成 22 年度 (第 5 1 回) 三道大会 (武道館)

1 1 月 2 3 日

平成 22 年第 4 3 回武州弓道大会 (今年度は武道館での開催)

1 2 月 1 2 日

納射会 (武道館)

1 2 月 1 9 日

神社道場・武道館大掃除午後 1 時から

1 月 1 日

新年百射会 (3 1 日午後 9 時開始 神社道場)

1 月 7 日

寒稽古 (1 月 1 1 日まで 神社道場・武道館)

1 月 1 6 日

初射会 (午前 9 時 神社道場)

懇親会 (午後 1 時半 社務所)

### ∞ 会長月誌 ∞

4 月 0 6 日 熊野神社に管理料 (下期) 納付

4 月 1 2 日 熊野神社春の例祭

4 月 1 7 日 埼玉県弓道連盟評議員会 (日高市)

4 月 2 5 日 所沢市柔道連盟 清藤 誠先生  
「瑞寶單光章」受章祝賀会

5 月 0 8 日 埼玉連盟理事会

5 月 0 9 日 第二回地方審査一般 (所沢市)

5 月 2 5 日 所沢市体育協会理事会

5 月 2 9 日 秩父市営第一弓道場落成記念  
祝射会・祝賀会

6 月 0 5 日 所沢市体育協会評議委員会  
・懇親会

7 月 1 0 日 東・西新井町、熊野神社宮司  
・氏子会長、遠的場地主お中元

7 月 1 4 日 熊野神社撰社、八雲神社の祭礼  
参拝

7 月 2 3 日 平成 22 年度 (第 5 1 回) 所沢市  
青少年三道大会打合

7 月 2 6 日 遠的場地主に謝礼

8 月 0 7 日 東・西新井町納涼盆踊り大会お祝

8 月 2 5 日 熊野神社駐車場代支払

9 月 1 日 所沢市体育協会理事会

9 月 1 6 日 大西 徹先生通夜  
(1 7 日告別式)

### ∞ お悔やみ ∞

9 月 1 4 日、教士六段 大西 徹先生が心不全のため急逝されました。享年 69 歳でした。

先生は、長年に亙り 埼玉連、西部支部、所弓連の役員を務められ、また初心者や会員の指針として「弓道場利用の手引き」を草稿されるなど、組織の発展に多大なご尽力を頂きました。

先生は、平成 18 年 12 月に教士の称号を認許されました。また、本多流を極められ、同流生弓会の理事も務めておられました。

心からご冥福をお祈りいたします。

## ∞ 編集後記 ∞

記録的な猛暑もやっと過ぎ弓の修練には絶好の季節となりました。

今号の掲載記事の中で、藤田三吉先生が卒寿を迎えられてなお矍鑠(かくしゃく)と弓を引かれていることに元気を頂きました。

また、キースさんの「国際武道文化セミナーへ再び参加して」を読ませて頂くと、武道をそして弓道をより深く知りたいとの思いが伝わってくるように感じました。この記事が会員の皆様にとって、日々の練習の中で忘れがちになる弓道そのものへの興味を改めて思い起こすきっかけとなれば幸いです。

## 編集委員

飯島稔凱 小林壽子 小林康則

山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第 4 号

発 行 日 平成 22 年 10 月 31 日

発 行 者 所沢市弓道連盟

会長 新家 透